





三月定例会

51年度予算など35議案可決

勝山市議会三月定例会は三月十二日から二十六日までの十五日間の会期が開かれました。十二日日本会議で市長の所信表明、提案理由の説明があり、十五日、十六日の両日一般質問、質疑のあと各委員会に付託されました。

上程された議案は昭和五十一年度一般会計当初予算三十七億三千九百六万円など三十四議案と昭和四十九年度一般会計決算の認定一件で各委員会で慎重に審議され、十七日開かれた本会議において昭和五十一年度一般会計補正予算が原案どおり可決、また他の案件は最終日の二十六日の本会議でいずれも原案どおり可決されました。今議会で一般質問は次のとおりです。

一般質問

野(玉木次也(松ヶ崎) 山内俊成(案師神谷)
(順不同・敬称略)
乾 与兵衛(平泉寺) 古川武(猪野口) 上出甚九郎(滝波) 加藤藤義 北六郎(野) 松村守蔵(聖丸) 丹後隆洋(田名部) 林文右工門(東野) 島田豊(発坂) 松山武男(中島) 多田忠誠(猪)

単年収支の均衡につとめ 健全財政堅持

ことしは地方自治法施行三十周年の年に当たり、意義深い年である。世界の経済はニクソンショック、オイルショックで崩れ去り、戦後の世界経済秩序建設の基礎固めが言えます。昨年ランブウエーで先進国首脳が集まりこれらの打開を模索したのですが、我が国が不況とインフレ、国際収支



所信を表明する高野市長

今日、かつ地方自治体の財政硬直化で振興計画の推進に懸念されることはもっともだと思ふ。しかし、本市の場合、現在の基本構想に基づいて忠実に事業を進めていきたい。振興計画の策定に当たって高度成長に限りあることを見込んで計画した。実施に当たっては多少手直しはやむを得ないと思う本市は財政計画を変更する程落ち込みはない。交付税等でカバーできると思ふ。冗費の節約をはかりあくまで健全財政を堅持しながら事業を推進していきたい。

市長 ④昨今の経済情勢が悪いのでゴルフ場としてはむずかしい。新しいレジャー施設として開発したいがねばならないと思ふ。早期着手は困難と考えるが本市としては当初の計画どおり実施するよう要望すると同時に開発企業が態度をはっきりするよう強く要請している。

中における事情変化に弾力的に対処できるようにあらかじめ財源を確保し、今年こそ財政秩序の基礎固めをしたと考えています。市政運営に当たっては、地域住民の生活安定、生活環境の整備、道路整備事業債等認め、事業の拡大をはかる対策を打ち出しています。

市長 ⑤流水溝の管理指導には区長、町内会長の協力を求めるが、降雪があると市民の方が一時に雪流しをされるので排水量と降雪量のバランスがとれず流れが止まってしまふ場合がかなり続出している。市職員がそれに対処しているが迷惑をかけていることも多い。流水溝の改良と併せて管理の面にも十分配慮していきなさい。東道の除雪のこととは当時状況判断が悪く、除雪が二、三時間遅れたためあのようにな事象が生じた。市は県に対して善処を申し入れた。県土木も反省している。市は県と常時連絡を密にし除雪対策に当たっている。

行政全般の洗い直し 必要

藤田議員 ①新年度予算の編成について総合予算主義で取り組んだというが、四十八年策定された総合振興計画の中でどのような影響がでてくるか。この計画は高度成長時に計画されたものであり、低成長の今日のように対処するのかが、また、健全財政を堅持する取り組みの中で国の方向と矛盾する面も生じると考えるがどのような処置をとるのか問う。

一般質問

市長 ②本市は成長率を低くみて財政計画を立ててきた。歳出の節減に努力することは当然であり、機構改革、事業の洗い直しも最もしつこい立場に立って努力したいと考えています。政府は地方財政が少しでも豊かになるための財源の確保に、地方税法の一部改正、財源不足に対する地方債、臨時地方特別債、道路整備事業債等認め、事業の拡大をはかる対策を打ち出しています。

幼稚園の改築に積極的

大平議員 ①本市では男子労働人口が非常に少ない。今後工場誘致等を考えた場合、男子労働者の雇用を確保することが大切と思うがどのように考えているか。

市長

市長 ①本市の場合男子労働者の少ないことは働く場が少ないのが原因である。これら労働力をウイタンスさせるには、中小企業でもよいかから企業を誘致し、男子労働者を定着させる職場づくりをしなければならぬと求めている。

市長

市長 ②商店街の近代化が望まれているが市はこのことについてどのように育成指導しているか。また、最近大型共同店舗を建設する計画が進められているが市は行財政的に援助を考えているか。

市長

市長 ③商店街の振興については商工会議所に補助金を出して依頼している。今後も会議所と連携を密にし振興に努めたい。市はこれらについて融資制度を設け、一億四千万円を貸付し金融機関に対し倍額程度の融資を願っている。

市長

市長 ④行政事務量の増加と人員減によって職員の負担がかかなり大きくなっているが、住民サービスが低下することはないか。各課の人員配置を十分検討する必要があるのではないか。また観光対策はこれから大きなウエイトを示すと考えられるか。

市長

市長 ⑤上水道施設の管理は十分注意している。第三者の原因による損壊補償は原因者負担を原則としている。水道課長 ⑥第三者による損壊についての補償の積算は、修復に要した人件費、資材費および流失損料を合計して、原因者に請求している。

市長

市長 ⑦児童生徒の健康管理、特に視力についてであるが体力が向上しているのに、近年視力が落ちてきているやに聞くが市の状況はどうか。また視力保護についてはどのように考えているか。

市長 ⑧教育新聞の調査によると小学生六七％、中学生九二％、高校生八九％の近視者がある。勝山市では小学男子一九％、小学女子二五・一％、中学男子三四・九％、中学女子四二・九％で非常に多い方である。視力保護対策と近視の原因は学習における姿勢、テレビの見方、活字が小さくなった点、照明の適正化、過労、熱視、偏食糖分のとり過ぎ等の原因を十分認識し、これを念頭におき保護対策を立てる。遠望訓練は近視防止に大きな効果があるので学校生活の中に取り入れていく。

市長 ⑨学校主任制度については、これを念頭におき保護対策を立てる。遠望訓練は近視防止に大きな効果があるので学校生活の中に取り入れていく。

市長 ⑩現在の幼稚園は市街地を除いてそのほとんどが地元の要望によるにわかつくりの幼稚園で小学校や旧中学校の校舎を転用したものである。直ちに改築することは財政上困難だが、できるだけ早い機会に改築していきなさい。保育料の値上げについては県下の公立幼稚園の保育料などを見合せ、引き上げ率を抑えながら徐々に引き上げていきなさい。本市の場合園児一人当たり年間七万円使われているのである程度父兄負担を願いたい。

市長 ⑪諸条件がそろえば実現していきなさい。文部省が考えている幼稚園数は人口十万人に対して、五園であるとしているが、本市は人口三万余に対して九園ある。いかに市の財政負担が大きいかも考えてほしい。教育される場はいろいろあるが、幼児は家庭教育が最も大切であると考えている。

市長 ⑫行政事務量の増加と人員減によって職員の負担がかかなり大きくなっているが、住民サービスが低下することはないか。各課の人員配置を十分検討する必要があるのではないか。また観光対策はこれから大きなウエイトを示すと考えられるか。



山内秋雄議員

観光関係職員を増員してはどうか。課によっては非常に労力的に無理があり、休業もとれないという事実もある。健康管理面から適正な措置が必要と考えるがどうか。

市長④労働者は十分配慮して、事務量は増加しているが労働過重にはなっていないと思ふ。消防、保健など特殊な職場の職員については十分な健康管理を考慮して、観光関係についても検討したい。適材適所でその仕事に愛情を持って取り組む職員を育てたい。

助役④課の統廃合については現在の課を縮小する方がよいと考えている。職員の相互協力は一段と強化していきたい。休日勤務の件は市民の要望があれば進んでやらなければならないと思ふ。休業は十分とるよう指導している。

大平議員⑤新年度予算の歳出面で事務的に必要な費用、役員費、負担金等がかなり減額になっているが事務上不都合はないか、また任民サービスが低下するようにならないか。流用補正等で切り抜けているが好ましいことではない。予算編成時において考慮すべきだと思うがどうか。また商工、観光の開発等の予算が少ない、もっと見るべきではないか。

市長⑤新年度予算の編成には経費の削減について目標を定め、費用等はむだをなくすことで削減したい。備品は一括購入方式でむだのないようにする。このようなどて住民サービス、事務効率の低下は断じてないようにはしていきたい。予算の流用についてはこの指摘のとおりで、決められた予算である以上流用することのないよう指導していく。大平議員⑥歳入面で交付税を低く見込んでいるが、実績から見えてきた点がある。どのように見ているのか。

市長⑥交付税の見積りが少ないことであるが、これは自治省

の指導により二割位少なく見積るようになっていることである。増額分は人動によるものである。特別交付税は二月末最終決定があり、当初の見込み一億四千万前後であったのであるが、関係者の力添えで一億五千万円の交付決定があった。交付税については安定線を引き、喫実な数字を見込んで予算編成に当たった。

福井・勝山間のバイパスの貫通を急げ

山内秋雄議員①本市の産業経済、市民生活の発展は交通網の整備によって成し得ると思ふが福井・勝山間にバイパスを貫通させることがこの目的達成に重大なポイントとなっている。市はこの問題にどのように取り組むか、どのような進展があるのか問う。以前に長山山すい道の着工が五十一年度という答弁があったが間違いないか。

市長①市の発展に欠くことのできない道路で早期実現を望んでいる。路線決定には関係市町村がよく協議を重ね、ようやく昨年路線が決定したので一日も早く完成するよう働きかけた。本市地係では滝波-伊波間は五十一年度中に土地買収を終り、一部工事にかかる予定である。建設課長①昨年度の公共事業抑制、国、県道の第一次改築を優先するなどの基本的問題もあり、長山すい道は第二次改築であるので当初の五十一年度着工予定は五十二年以降になると思ふ。

山内秋雄議員

農林課長②昨年は異状気候によりスギのハダニが発生したがハダニの発生は四月下旬に7化し、五月上旬、九月上、下旬に大きな山があるため、この時期に防除を実施したい。防除方法としてはクエン酸、くんとう殺虫剤、虫刺があるが、くんとう殺虫剤の方が二、三か月間効能がある。これを多用したいと思ふが公害問題もある。関係機関とよく連絡検討の上万全を期したい。

山内秋雄議員③全国的に深刻な行財政であり、地域社会の要望をみたすため行財政の見直しが必要とされている。内からの見直しだけでなくこの際外からの見直しも必要と思ふ。客観的に行財政を洗い直す機会を設ける考えはないか。

市長③建設的意見であるが経費がかかるのではない。機構が複雑化しているのが整理統合をはかりたい。行財政について研究してもらえればよい。山内秋雄議員④幼児の教育は家庭教育が一番大切だが、保育所に入所している幼児はこの点不足が、これを補うための保育の教育指導が望まれる。指導機関を設けるべきではないか。市長④保育の教育について、県で研修会が開かれているし、市でも保育が自主的に研究会を開いている。代替え保育を配置してなるべく研修の機会を与えるようにしているが、これから時代に対応した対策を講じていきたい。

山内秋雄議員⑤主任制度に対する本市での反応はどのように出ているか。

市長⑤二月末、本市の教員が県の指令で県、市の教育長に出た反対陳情によればほとんど反対の意向を示している。同

僚的な考え方では八〇%位は反対の意向である。

道路・水路などの補修を迅速に

武内議員①自治体の財政硬直化の折から財源確保のため、市では財政制度の改善を逐次進められていると思ふが、あれば説明してほしい。

市長①超過負担が財政を圧迫している。地方六団体を通じてこの是正を強く政府に要請した結果ある程度改められた。補助率も引き上げられ、また起債の充当率も一〇-一五%の引き上げを認めてくれることになった。不況ではある程度事業は減らさなければならない。更に元費の節約、むだの排除、合理化を進め不況を乗り切りたい。武内議員②土木関係予算で事業費に比べ補修維持費が少ないのではない。パラスの補給、道路面の修復等は迅速にやれるようにしないと交通安全の点からも問題である。この点のよう

に対処していくのか。

山内秋雄議員

市長②つくつたものについては細心の注意を払い、大きな損傷にならないようにしたい。関係課長に十分心がけてやるように指示したい。

武内議員③諸修繕、補修に職員の配置が十分ではないのではない。現実の充実を図る必要があると思ふがどうか。

市長③道路、橋、河川の維持管理については新規事業より重要とされている。小規模の補修は市直営でやっていた。武内議員④不況の長期化の中で公共事業の促進は景気浮揚にもつながると思ふが、国、県道改修などの事業はどのように進んでいるか。

市長④福井・勝山線、小松-鹿谷本郷-大野線など早期改修のため期成同盟会が組

織されているので効率的に運用したい。特に他県との関係あるものについてはできるだけ出席して市の要望を述べたい。不況対策の一環ともなることなのでその促進方に努力する。武内議員⑤隣町の友好親善について市民の期待も大きいと思ふがどのような考えであるのか。市長⑤中国の招待を受けたので行く以上効果をあげることが使命と思ふ。中国は我が国とは政治、経済、社会機構が全く違うので、よく見聞して参考にした。また外から日本を眺めるよい機会だと思ふ。訪中の記録を市民に報告したいと思ふ。

武内議員⑥隣接市町村との交流が大切だと思ふが、白峰村との関係をどのように考えているか。年中行事である歳の市には全面的な協力があった。更に連携を深める必要があると思ふがどうか。

市長⑥近隣の市町村との友好交流は就任時から心がけてきていることであり、お互い手をたずさえて協力していきたい。これまで白峰村とは文化、経済の交流が深く、白山国立公園という観光資源を持つことで本市にとっても大いに友好を図るべきだと考えている。国道157号線の改修が完了すれば更に深まるものと信じている。今後お互いに愛の手をさし合っていく。武内議員⑦学校施設の改築は計画的に順次行われ、結構なところでグラウンドの整備が遅れているように思ふ。どのように処

理するのか。

教育長⑦現在整備を急がれるものに南中グラウンドのフェンス、野向小運動場、平泉寺小運動場などがあるが、今の予算の範囲内で十分考えていきたい。

教育長⑧支障のないようにつけて積極的に使用してほしい。(四ページにつづく)

教育上で最小限不都合のないようやっていた。

老人・壮年層のスपोर्ट振興に力を入れるべきだ

松村誠一議員①大用水は二十年前築造されたものだが、土地区画整理などが進み宅地化され水路は流濁汚しとしても大切なものだ。農業用水、都市用水いづれか、水量の絶対量が不足している点はどうか。

市長①かつては農業用水が主たる目的であったが都市計画の進行により都市生活用水の性格が強くなってきている。大用水の維持管理は重視している。今後大いに生活用水として活用したい。大用水の築造は古く、絶対量の水量をとり入れるには不都合な点があるので全面的に改修する必要がある。水路改修の予算は従来の倍以上に生活用水として十分利用できるようにして考えている。既設のものであるため補助を得ることはむずかしいが逐次改良、改修していきたい。

農林課長①大用水は新、旧二つあるが、旧用水は勝山町時代からのもので、新用水はかんがい用水であり、その他については都市用水である。旧大用水の水量は減ってきているのが実情。用水が農振地域と都市計画用途地域にまたがっていることで、農振地域は補助がつく。関係課と相談してやっていた。建設課長①建設課では大用水の上流部は農業用水、その他は都市用水という考えである。漏水が非常に多いので下流部の水量が少なくなっている。水路は五十一年度から三か年計画で南小学校の近くまで改修する考えである。これができればよくなると思ふ。大用水の取り入れ口の川の流れが移動した

め十分水を取ることができない。対策として川の流れが移動しないよう低水護岸をつくる必要がある。どの県へ要望していく。松村誠一議員②大用水を改良する場合、農振地域では補助率はどうか。また都市水路についても問う。起債はどうか。

農林課長②農振地域内では、県単事業三〇%。国の場合四〇%の補助がある。企画財政課長②起債については単独事業と認められた時は補助金を差し引いて三〇-三五%位と思ふ。

建設課長②都市下水路でやる場合、国が三分の一補助してくれる。公害対策事業「流濁汚濁」としては国が三分の二補助している。住宅地域は公害対策でやればよいが、国庫補助事業は採択基準があり限定される。現在やっているものも採択基準から若干ずれているが特に採択してもらっている。周辺の現状が流濁汚濁の目的が果せるかどうか問題である。

松村誠一議員③弁天グラウンドが昨年流失したが復旧について県との流れに交渉しているのか。また低水護岸がもう一つ高ければ流失しなかつたと思ふが護岸を高くすることはできないのか。

建設課長③弁天公園の復旧は国、県に要望したところ市の要望が認められ、河川環境整備事業に組み入れられ本年度から実施し五十一、五十二年で完了の予定。低水護岸は特定災害復旧事業として査定も終っている。これで進めたい。護岸の高さの問題は、河川においては平常流れる河川敷がいろいろの関係で洗掘され河床が掘られるので遊水地が縮小されてくる。このような事態が続くと本堤が危くなるのでこれを防ぐため低水護岸を設けている。高さは洪水積の現況の高さをもつて決めている。

松村誠一議員④新しい産業の

開発、誘致について受け入れ体制はどうなっているか。

市長④産業の開発、誘致については金を使わないで知人、縁故をたどり模索している。大阪通産局、県へも工場用候補地三か所を示し誘致を依頼している誘致についての費用はケースバイケースでいきたい。

松村誠一議員⑤現代社会における社会体育の普及発展は重要であり、これらに親しむ人口も年々増加している。長山公園グラウンドにナイター設備をしてはどうか。

市長⑤この問題は時期をみて要望があれば考えたい。建設課長⑤ナイター設備については利用者の効果率、維持管理面に問題があるので今後の研究課題にした。

松村誠一議員⑥国保の財政が逐年苦しくなっており、それに伴い保険税も毎年アップされてきているが、老人、壮年層の健康増進を図るにはある程度カバーできるのではない。このような点からもスポーツの振興が大切と思ふがどのような考えをもっているか。

市長⑥各老人会でいろいろ活動している。また市では老人スポーツ大会を開き振興を図っている。教育長⑥体力テストを実施して振興策の一つとしているが、今後必要があればどうしやりたい。個人個人が自己の体力を認識して体力に合致したスポーツを行えば体力づくりになると思ふ。

松村誠一議員⑦老人スポーツを積極的に振興するため、各地域に体育指導者を設けて、歩こう会からでもよいかやるべきではないか。

教育長⑦歩こう会は大変いいことであるので大いに広めたい。体育指導者については考慮していき。

松村誠一議員⑧学校体育施設の一般開放をどのように考えているか。

教育長⑧支障のないようにつけて積極的に使用してほしい。(四ページにつづく)

教育長⑧支障のないようにつけて積極的に使用してほしい。(四ページにつづく)